# 道母連だより

■第98号■
発行日／令和5（2023）年1月1日
発　行／社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連合会
〒060-0031
札幌市中央区北1条東8丁目　北海道母子福祉センター内
電話 (011) 261-0447
●題字は山高しげり先生　●印刷 ㈱アイワード

## 新年を迎えて

北海道知事
鈴木直道

新年、あけましておめでとうございます。

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

また、日頃から、北海道母子福祉センターや母子家庭等就業・自立支援センターの運営、公共施設での清掃業務や保育事業の受託による雇用の確保、民間企業と連携した奨学金の給付など、道内各地で、ひとり親家庭の方々への支援活動に積極的に取り組まれ、ひとり親家庭の福祉の向上や自立促進にご尽力いただいていることに深く敬意を表します。

昨年を振り返りますと、9月には、3年ぶりに道内及び東北各県の方々が一堂に会し、東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会が札幌市で開催されました。活発な意見交換などを通じて交流や連携の輪を広げられ、実りの多い研修大会になったことと思います。畑理事長をはじめ、開催に向けてご尽力いただいた関係の皆様に、心から感謝を申し上げます。

一方で、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、エネルギーや原材料等の価格高騰や円安基調などにより、道民の皆様の生活や事業者の方々の経営環境に大きな影響が及びました。

道としては、今後とも、経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭の皆様のご意見をお聞きしながら、資格取得のための就労支援をはじめ、貸付金・給付金制度による経済的支援や母子家庭等就業・自立支援センター等における就業支援、弁護士等による養育費などの相談支援、子どもの学習支援などの必要な支援施策の推進、相談支援体制の充実などに努め、4月に設置されるこども家庭庁の取組にもしっかりと対応しながら、道民の皆様が安心して子どもを生み育てることができるよう取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この一年が、皆様にとりまして、希望にあふれる素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

東北・北海道各地区の理事長・会長

花束を手に退場されるお二人

鈴木直道北海道知事と
秋元克広札幌市長

# 新年の抱負

## 第66回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会を終えて
（第48回北海道母子寡婦福祉研修大会）

理事長　畑　和子

新年おめでとうございます。

皆様お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと存じますが、幸多き年になりますよう心から願っています。

昨年、コロナ感染拡大の中、第66回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会が、皆様のご参集により開催できましたことを厚くお礼申し上げます。鈴木知事さんと、秋元札幌市長さんに歓迎のご挨拶をいただいた時は、「これで大丈夫！」と自信が湧きました。二日間、無事に過ごせましたのも胆振地区の皆様、実行委員、事務局のお陰と感謝しています。

長く続く自粛生活、人と会うこと、出会い、対面することが如何に大切であるか、コロナ禍だからこそ、つながりが重要であることを知らされました。この大会を機に、各地区、各単位会の研修や行事が徐々に前進できることを願っています。研修大会ばかりでなく、事業運営も人です。人を大事にしていきます。

昨年夏と冬の二回に亘り、ライオンズクラブ様から石狩・空知地区の母子家庭に、子ども笑顔応援プロジェクト「コロナに負けるな！」として、お米や食用油、レトルト食品やお菓子などが詰められた「宝箱」のご支援をいただきました。私たちは、子ども達が笑顔になる楽しい活動をして、応援して下さる方々に応えたいものです。

室蘭市に拠点のある、母子家庭等就業・自立支援事業のセンター長が10月1日より道母連の藤本恭子理事に交代しました。今後は一層きめ細やかな事業運営ができると思います。5圏域の皆様のご協力をお願いします。

少子高齢化ですが、支え合って休会を止め、ひとり親家庭に寄り添い、奨学金の活用を向学心のある高校生に薦めていただきたいと思います。

よい一年でありますように。

会場設営完了

前日の資料詰め

前日開催の第２回実行委員会

黙食ながら楽しい仲間との交流会

真剣な眼差しで研修

研修討議提言の
室蘭母子福祉会
原順子会長

大役を果たした
総合司会の
甲谷千春理事

## 令和4年度全国母子寡婦研修大会に参加して

（オンライン動画視聴参加）
開催日　令和4年11月5日
開催地　滋賀県大津市

室蘭母子福祉会
原　順子

今回の大会は会場参加者が約300名と、参加者がオンラインでの動画を視聴する新しい形の大会でした。その研修討議で私は子ども食堂について発表しました。ただコロナ禍で滋賀県まで行く事は難しいので、事前に発表を録画撮りし、それを流しました。また当日Ｚｏｏｍでつなぎ、補足説明もしました。

コーディネーターの方は発表の中のキーワードを上手く取り上げ、参加者に分かりやすく解説してくれました。

YouTubeで大会視聴中の原順子会長

大会は講演とシンポジウムと続きました。活動には「連携」が大事で、ひとり親が抱える問題に寄り添えるのはひとり親だからこそだと思いました。当事者団体の役割を改めて感じました。

情報過多な今、必要な情報を必要な人にどう届けるかが課題ではないでしょうか。

## 令和５年度道費予算等に係る要望書提出しました

令和４年10月13日に北海道知事と自由民主党北海道支部に提出。北海道知事宛の要望書は、保健福祉部子ども未来推進局長室にて、竹澤孝夫局長に畑和子理事長がお渡ししました。来年度の委託費・補助金等が減額にならない様にお願いしました。

## 第66回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会に参加して

開催日　令和4年9月3～4日
場　所　札幌市定山渓

旭川市母子福祉連合会
加藤　千顯

この度の研修には旭川から9名（内子供1名）が参加しました。新型コロナ感染症が終息しない中、少し気になりましたが、参加して勉強させていただきました。

皆さん自立を目指して頑張っています。でもコロナの影響もあり、厳しい生活を強いられている方も沢山いらっしゃいます。収入が安定することが大事で、健康や進学に繋がり、それが子供に安心感を与えるのではないでしょうか。

厚生労働省の「ひとり親家庭への支援施策」の説明も色々と沢山あって、勉強不足を痛感しました。ちゃんと勉強して、参加出来なかった会員さんに伝えなければ…と思いました。

登別温泉の郷土芸能「熊舞」初めて見ました。町の人々と熊との関わり合いを表現した、お湯への感謝と千客万来を祈願したものとか。伝統の舞です。

旭川から参加の方々

交流会では、歌ったり踊ったりはありませんでしたが、周りの方々と美味しいお料理をいただき、ビールを飲み、楽しくお喋りをし、アッという間に時が過ぎました。お部屋に戻ってお喋りし、お風呂に行き、翌朝もまたお風呂に入って「極楽ごくらく」と日常を離れたゆったりとした時間。楽しい時を過して「来年、秋田に行きたいねェ」と話しながら帰ってきました。

## 令和5年度は秋田県でお会いしましょう！

8月4日　100箱の贈呈式

ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区
ひとり親家庭への食糧支援
～コロナに負けるな！子ども笑顔応援プロジェクト

# 石狩・空知地区母子会員に 100箱の【宝箱】をいただきました！

長引くコロナで活動や行事の自粛が続く中、嬉しいご支援をいただきました。8月7日と12月4日の2回に亘り、100箱づつの食糧支援があり、江別市、北広島市、千歳市、当別町、岩見沢市、赤平市、歌志内市の母子会員全家庭に届けられました。物価の高騰が続く中、お米や食用油、レトルトカレーやカップラーメン、お菓子やジュースに、「助かる～！」「こんなに沢山！」「嬉しい～！」と感謝の声が続きました。

ご臨席のライオンズクラブの方々

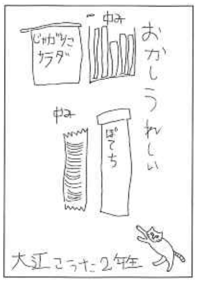
10月27日　感謝状贈呈式
千歳市・北広島市を理事長代読

ライオンズクラブの皆さんと記念写真

江別市母子会
（こぶし会）

赤平母子寡婦
福祉連合会

岩見沢市母子寡婦
福祉会



チップスター大好き！

ライオンズクラブの方々と
理事・評議員の懇談会

当別町母子寡婦会

たくさん食べ物を頂き、大変感謝しております。
女の子なのでそんなに食費がかからなかったのが、大きくなり
最近食べる量が増えてきたので、とても助かります。
3人で大切に食べていきたいと思います。
ありがとうございました。

「ありがとう！」を書いています

ありがとう！いただきま～す！

みんなの嬉しいが詰まった
「宝箱」

なんてたって「あかいきつね！」

# 令和4年度胆振管内 母子寡婦福祉研修大会報告

苫小牧風花の会
佐藤　町子

開催日　令和4年10月16日（日）
参加数　89名

穏やかな天候に恵まれた秋の町内清掃に参加後、胆振管内研修会に初めて参加しました。会場に入ると急に緊張感を覚えました。子ども含め参加者89名、多分皆さんの熱気で圧を感じたのでしょう。

始めは、胆振総合振興局の職員の方でひとり親家庭に関する「行政説明」がありました。資料参考に、母子、父子の収入、就業、各種手当等問題点、生活向上の為の自立、福祉支援強化の必要性を話されました。自分の過去を振り返ると記憶が遠く、周りの方の支えしか浮かばず只々感謝です。

行政説明　胆振総合振興局　計良真宏氏

ウポポイキャラクターのトゥレッポん

熱心に研修する参加者の方々

次の講演は、市職員の方の「ごみ減量とリサイクル」。苫小牧の郵便番号053で「ゼロごみのまち」として笑いとユーモアを交え環境問題を熱く語られました。幼稚園、保育園にも啓発活動を通じ園児に人気の環境戦隊5レンジャーと触れ合い喜ばれています。

ウクレレ演奏を聞きながら黙食昼食。午後は施設見学です。

白老のウポポイ（民族共生象徴空間）へ行きました。修学旅行生や観光客が多く、施設も広く戸惑いましたが、アイヌ民族の生活民具、衣食住に関わる展示の数々、アイヌ文様の美しさ、民族舞踊の見学も出来、充実の一日でした。

## 道母連事業報告 母子家庭等就業・自立支援センター事業

室蘭市にあるセンターを拠点に、道央圏（胆振・日高・石狩・空知・後志）五地区の広域を3名で担当しています。

新体制（令和4年10月1日）
センター長　藤本　恭子
副センター長兼就業相談員・促進員　廣内　敏子
就業相談員・促進員　徳光真希子

今年度も各地区では、事前訪問、合同会議、就業セミナー、無料法律・巡回相談会等が、コロナ感染対策を整えながら実施されました。

長引くコロナに、就業・転職・生活相談等、センターの役割は大きく活動の充実が期待されます。

空知地区（三笠市）セミナー
（9月17日）
「働く女性の自立とスマートな生き方！」
講師　中田純子氏

石狩地区（千歳市）合同会議
（10月8日）

石狩地区（千歳市）セミナー
（10月8日）
「就・転職セミナー　感じが良いための7か条～より良い人間関係のために～」
講師　近村静代氏

胆振地区（苫小牧市）セミナー
（7月2日）
「笑いヨガ (^^ ♪」
講師　加藤純子氏

## 「夢を応援基金」奨学金

**「ひとり親家庭支援奨学金制度」**

**対　象**　ひとり親家庭の中学３年生、高等学校、高等専門学校（１年生～３年生）等に在籍する生徒

①ひとり親世帯（母子家庭、父子家庭）であり就学に関して経済的に困難な生徒
②夢を実現するための意欲があり、社会への貢献を希望している品行方正な生徒
③道母連の会員、及び入会を希望する子ども（生徒）
④道母連理事長が奨学生として推薦するに相応しい生徒

**給付額**　月額３万円（返済不要）
**募集数**　全国400名

**お問い合わせ**　道母連事務局
TEL（011）261-0447
月～金／午前９時～午後５時

## ひとり親家庭奨学生募集

**◎「北海道新聞社福祉振興基金・北洋銀行・道母連」奨学金**

**◎「北海道 CGC みどりとこころの基金」奨学金**

**対　象**　①道内（札幌市を除く）に居住し、道内の高等学校に在学中であって成績が優秀な児童で経済上就学が困難な生徒
②その他上記に準ずる状態で奨学金を必要とする事情にある生徒

**給付額**　月額5000円／１年間（返済不要）

**募集数**　令和４年度は両方で313名

夢を応援基金
「ひとり親家庭支援奨学金制度」では、
北海道で12名に給付されました。

令和４年度も
道新振興基金さん、北洋銀行さん、
みどりとこころの基金さんから
助成をいただき、313名に奨学金が
給付されました。

## 奨学金　御礼状

室蘭市　田中千佳さん

拝啓
北海道大谷室蘭高等学校 2年 田中千佳です。
この度は奨学金のご支援をいただき心より感謝いたしております。
高校では吹奏楽に所属しコロナに負けずに日々は努力をかさねてイベントに向けて練習をしております。
10月には定期演奏会 50年になりましたのでゲストで札幌大谷大学の先輩方と合同で2部に分けて悔いの無い演奏ができる用に練習に励んでおります。
今年は来年よりも真剣に進路を考え自分の行きたい大学、専門学校の費用等を大切に使わせていただきたいと思っております。
本当にありがとうございました
敬具

伊達市　南條勇人さん

この度は奨学金を頂きありがとうございます。僕は陸上部に所属していて全道新人戦に出場するのでその費用に使わせていただきます。
入賞出来る用頑張ります。
ご支援ありがとうございました。
南條 勇人

函館市　佐々木優哉さん

私は工業高校に通っており、今回ご支援を受け引き続き勉学に励むことができるのを心から感謝しております。
現在は、進学に向けて、活動しています。未来のエンジニアになれるよう、今後も一層努力をしてまいります。今回進路活動が多忙で、お礼が遅くなりましたことを、心よりお詫び申し上げます。
最後になりますが、職員の皆様のご健康と今後の益々の発展を心よりお祈り申しあげます。

苫小牧市　藤信咲彩さん

この度は奨学金を支援していただき、本当にありがとうございます。
頂いた奨学金は、将来の夢である看護師の勉強のために使わせて頂きたいと思います。将来は看護師になり、たくさんの人々を助けたいと思っています。そのために今は勉強を頑張ります。
この度は本当にありがとうございました。
藤信 咲彩

当別町　鶴橋このみさん

畑 和子 様

この度のご支援、誠にありがとうございます。
高校3年生になり、国公立の大学を目指して日々、勉強しております。
必ず合格出来るように頑張ります。
ご支援に本当に感謝申し上げます。

鶴橋 このみ

道母連事業報告

## 江差たんぽぽ保育所

岩見かおり

たんぽぽ保育所の園児は現在5名で2才から5才までの子ども達が、まるで兄弟姉妹のようにしてすごしています。新型コロナウイルスの影響で活動範囲は以前に比べ狭まっているのですが、保育所周辺の豊富な自然の中で子ども達は変わらず元気に外遊びを楽しんでいます。天気の良い日は虫取り網と虫カゴを持ち空き地や草むらにはりきって出かけ、トンボにトノサマバッタやチョウチョをつかまえては大喜びしています。時には大きなヘビに遭遇し、怖いもの見たさで目が離せず釘づけになったり、大きな夕陽が海に沈んでいく様を園庭の盾山から「きれいだね」とながめたり、驚いたり喜んだりと出来る環境に日々感謝しています。これから日に日に寒くなってきますが、今から冬の雪あそびを子ども達と楽しみにしています。冬はコロナに限らずインフルやノロといった様々な感染症が流行る季節ですので、子ども達の体調に細心の注意を払いながら保育していきたいと思っています。

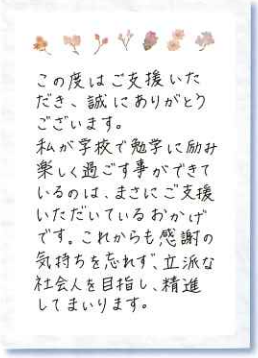
フェルトのケーキ。自分で飾りつけをして、2才おめでとう！

みんなで育てたキュウリ、「大っきい！」かっぱ巻きにして食べました

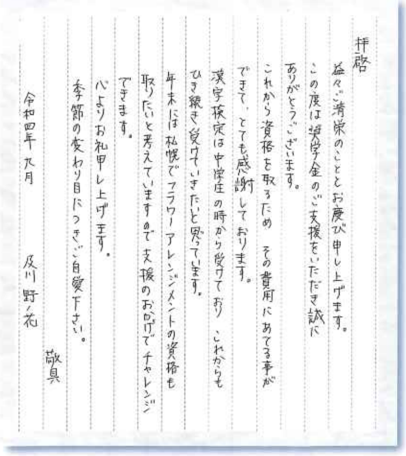
暑い夏の日。大きなタライで「きもちいい〜」

沢山もらったトウモロコシ。皮をむくのに真剣。「トウモロコシ出てきた！」と大喜び

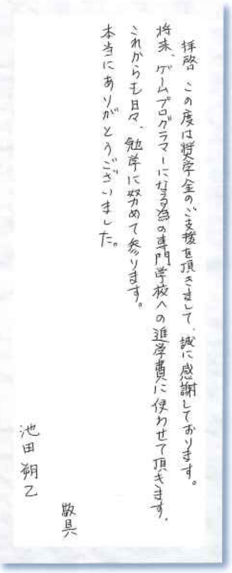
上ノ国町　高田悠稀さん


この度はご支援いただき、誠にありがとうございます。
私が学校で勉学に励み楽しく過ごす事ができているのは、まさにご支援いただいているおかげです。これからも感謝の気持ちを忘れず、立派な社会人を目指し、精進してまいります。

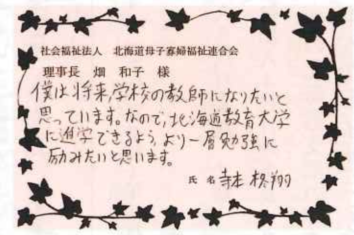
旭川市　及川野ノ花さん


拝啓
益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
この度は奨学金のご支援をいただき誠にありがとうございます。
これから資格を取るため その費用にあてる事ができて、とても感謝しております。
漢字検定は中学生の時から受けており これからもひき続き受けていきたいと思っています。
年末には私幌でフラワーアレンジメントの資格も取りたいと考えていますので 支援のおかげでチャレンジできます。
心よりお礼申し上げます。
季節の変わり目につきご自愛下さい。
敬具
令和四年 九月
及川 野ノ花

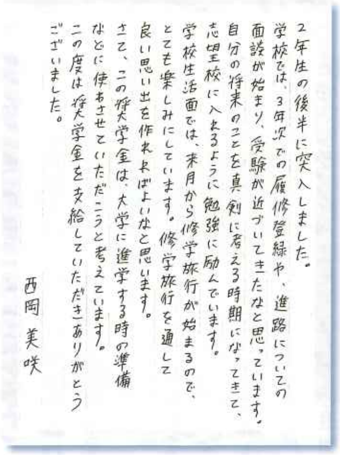
富良野市　池田朔乙さん


拝啓　この度は奨学金のご支援を頂きまして、誠に感謝しております。
将来、ゲームプログラマーになる為の専門学校への進学費に使わせて頂きます。
これからも日々、勉学に努めて参ります。
本当にありがとうございました。
敬具
池田朔乙

小樽市　寺本柊翔さん


社会福祉法人　北海道母子寡婦福祉連合会
理事長　畑　和子　様
僕は将来、学校の教師になりたいと思っています。なので、北海道教育大学に進学できるよう、より一層勉強に励みたいと思います。
氏名 寺本 柊翔

釧路市　西岡美咲さん


2年生の後半に突入しました。
学校では、3年次での履修登録や、進路についての面談が始まり、受験が近づいてきたなと思っています。
自分の将来のことを真剣に考える時期になってきて、志望校に入れるように勉強に励んでいます。
学校生活面では、来月から修学旅行が始まるので、とても楽しみにしています。修学旅行を通して良い思い出を作れればよいなと思います。
さて、この奨学金は、大学に進学する時の準備などに使わせていただこうと考えています。
この度は奨学金を支給していただきありがとうございました。
西岡 美咲

**道母連母子福祉振興基金へ**
**ご芳志ありがとうございました**
基金累計額（令和4・11・30・現在）
二一二、七一七、四三七円

## ‥‥ 宿泊・貸室　ぽれん ‥‥

**ご利用いただきました**
**若く、明るい声が響きました**

7月　滝上町交通安全協会
「交通安全子ども自転車記録会・体験学習会」大人5人、子ども7人

令和5年3月1日より値上げになります。現価格でのご注文は2月24日までにお願い致します。

**ゼンミトイレットペーパー 150m 巻**

ホームロール柄
・水玉ピンク・水玉ブルー
・流星・さくら
・ラベンダー
・無地

9月　北海道幕別清陵高等学校陸上部

令和4年度共同募金助成金は、東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会、広報紙発行に充当させていただきます。
　ご報告し、お礼を申し上げます。

## おくやみ

ご逝去をいたみ謹んで
ご冥福をお祈りいたします。

伊藤ミツさん　令和4年10月25日

道母連
社団法人6代目会長　2期
社会福祉法人4代目理事長　2期

　裏千家の北海道支部の理事も務められるなど多方面にご活躍され、叙勲も受けられました。事務局に来られるときは沢山のお土産を携え、笑顔で「みんな疲れたでしょう、お茶を一服立てるから休みなさい」と労ってくださいました。いつも着物の帯に財布を入れ、帯の間からお金を出される光景を珍しく見ていたことを思い出しています。

## 編集後記

　収まりかけたコロナは、何度も変異を繰り返し終息は遠くなるばかりです。このような状況下でも母子寡婦会を維持・発展するためには、万全な感染対策をしながらの活動継続が必要になります。
　今年度は道母連の石狩・空知地区を対象に、ライオンズクラブ様から大きな食糧支援がありました。事前の打合せでは、予算を調整していただき母子会員全戸に配布できる個数の確保、お菓子を追加していただく事、子どもが留守番をする夏休み・冬休みに向けての配布等々、支援を受ける側への数々のご配慮をいただきました。
　福祉活動では誰もが、「相手の気持ちに寄り添って」と口にしますが、今回〝寄り添う〟とはこのようなご支援なのではと感じ、深い感謝と共に学び多い出来事になりました。4頁の子ども達の笑顔が全道に広がってほしいと願うばかりです。
　母子会の解散、上部団体からの脱会が後を絶ちません。折角のご支援に、「母子会がありません」「母子会員がいません」ということのない様に、未加入の母子家庭に声をかけて、温かいご支援や高校生の奨学金に繋げ、楽しい仲間づくりに誘いましょう。
　母子寡婦会は、母子が楽しく過ごす会、寡婦が次世代の為に心を尽くすことで自らも幸せになる会です。
（安達史子）